



VP-501内線設定ガイド

WAVEMASTER®

WIRELESS ACCESS POINT

AP-5100VoIP

WIRELESS BROADBAND VoIP ROUTER

SR-5200VoIP2

IP電話対応

内線設定について

1

電話設定について

2

保守について

3

ご参考に

4

はじめに

本書では、VP-501を内線電話としてご使用いただくための弊社製VoIP機器側(簡易中継サーバ機能)の設定と、電話機本体の設定について説明しています。

※ 本書では、ご契約のプロバイダーへのインターネット接続設定とIP電話サービスの契約、SIP設定などがされているものとして説明します。
詳しくは、ご使用の弊社製VoIP機器[取扱説明書]をご覧ください。

表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

- 「 」 表記：オペレーティングシステム(OS)の各ウィンドウ(画面)、ユーティリティー、設定画面の各メニューとそのメニューに属する設定画面の名称を(「 」)で囲んで表記します。
- [] 表記：タブ名、アイコン名、テキストボックス名、チェックボックス名、各設定画面の設定項目名を([])で囲んで表記します。
- < > 表記：ダイアログボックスのコマンドボタンなどの名称を(< >)で囲んで表記します。

※ 本書では、簡易中継サーバ機能搭載「AP-5100VoIP」および「SR-5200VoIP2」を、「弊社製VoIP機器」と表記します。

※ AP-5100VoIP ver1.61、SR-5200VoIP2 ver1.61のファームウェアより対応しています。

設定例には、AP-5100VoIP(ver1.61)の画面を使用しています。

※ 本書およびハードウェア、ソフトウェア、外観の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

ご使用までの流れ

VP-501を設定されるときは、次の手順にしたがってお読みください。

順番に基本的な設定ができる構成になっています。

※各手順の右端に記載する数字は、本書の参照ページです。

【ご注意】 VP-501は、電話設定(☎2章)を完了するまで、内線電話として使用できません。

※設定をはじめる前に、弊社製VoIP機器の電源が入っていることを確認してください。

第1章

内線設定について ————— 5～17



第2章

電話設定について ————— 19～27



第3章

保守について ————— 29～32



第4章

ご参考に ————— 33～42

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、icomは、アイコム株式会社の登録商標です。
WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。



内線設定について

第 1 章

この章では、

VP-501を内線電話機としてご利用いただくため、弊社製VoIP機器側の設定について説明しています。

1-1. 内線電話について	6
1-2. 簡易サーバ設定	7
■ 子機内線設定	7
■ パークリコール時間	8
■ パークプレフィクス	9
1-3. 多機能電話設定	10
■ 設定画面を開く	10
■ 設定ボタン	11
■ ダイヤル待ち時間	11
■ フレキシブルボタン機能の割り当て	12
■ 呼出音	14
■ 音声設定	14
1-4. 共通電話帳	16
■ VoIP電話帳	16
1-5. 設定ダウンロード	17
■ 設定の更新	17
■ 電話機本体の設定	17

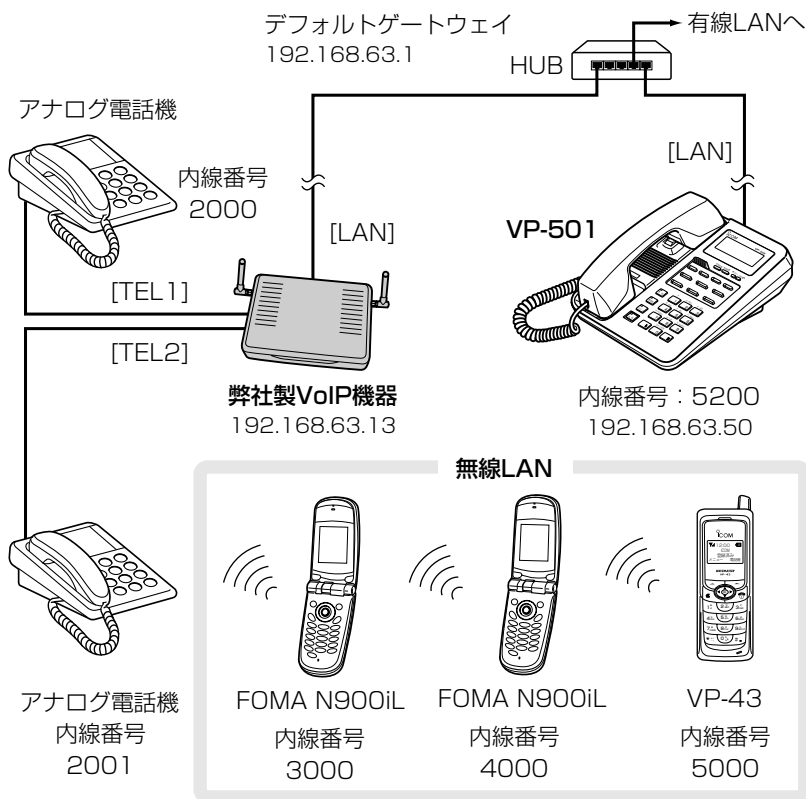
1 内線設定について

1 内線電話について

VP-501ごとに、「内線番号」と「固定IPアドレス」の設定が必要です。

ご使用の環境で、重複しないようにネットワークを構築してください。

本書では、弊社製VoIP機器の子機として、アナログ電話機、FOMA N900iL、VP-43とVP-501を登録した場合(※下図)を例に、VP-501の内線設定について説明しています。



デフォルト着信内線番号：2000

内線一斉発信番号：7777

コールピックアップ：9999

※電話機本体の設定は、本書2章をご覧ください。

※VP-501以外の子機については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

「電話設定」→「簡易サーバ(設定)」

2 簡易サーバ設定

弊社製VoIP機器に登録された子機で使用する、内線番号やパーク保留・応答についての設定です。

■ 内線番号設定

→ [子機内線設定]

弊社製VoIP機器に子機として登録するVP-501ごとに、内線番号とパスワードを設定します。 (最大登録台数：18)

[内線番号]は、半角数字で7桁まで登録できます。

※[パスワード]は、半角英数字で31文字まで登録できますが、電話機本体では半角英数字16文字までしか表示できません。

子機内線設定

番号

名前

内線番号

グループ番号

パスワード

発信設定 SIPサーバ: Peer to Peer: ISDN:

CGI認証 ID: パスワード:

個体識別情報 ser:

現在の登録

	番号	名前	内線番号	グループ番号	発信設定 (SIPサーバ/ Peer to Peer/ ISDN)	CGI認証 ID
編集 削除	1	VP501	5200		1 / 1 /	
編集 削除	2	FOMA1	3000		1 / 1 /	3000
編集 削除	3	FOMA2	4000		1 / 1 /	4000
編集 削除	4	VP43	5000		1 / 1 /	

名前は、任意で半角31(全角15)文字まで入力できます。

使用できない番号は

「*」および「#」ではじまる番号は、VP-501で使用できませんので、「内線番号」、「内線一斉発信番号」、「コールピックアップ(代理応答)」、「デフォルト着信内線番号」、「代表着信内線番号」には設定しないでください。

1 内線設定について

2 簡易サーバ設定

■ パークリコール時間

→ [簡易中継サーバ設定]

通話をパーク保留したとき、保留を忘れたり応答できなかった場合、転送元の電話機にリコール(再呼出)するまでの時間です。

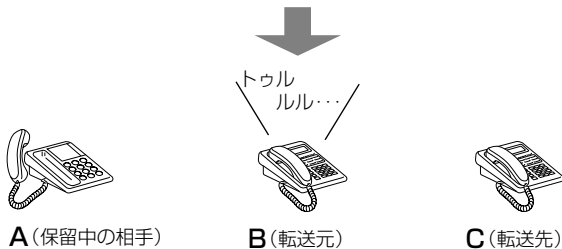
設定できる範囲は、「0～600(秒)」です。

(出荷時の設定：180)

※「0」を設定した場合は、リコール(再呼出)をしません。

簡易中継サーバ設定	
簡易中継サーバ機能を使用	☐ しない ☒ する
内線ドメイン	voip.virtual_server.co.jp
デフォルト着信内線番号	2000
転送切り戻り時間	20 秒
パークリコール時間	180 秒
多機能電話設定	設定ウィンドウを開く
特番設定	
内線一斉発信番号	7777
コールピックアップ(代理応答)	9999

設定時間内にパーク応答できなかったときは、転送元に着信します。



リコールできないときは

転送元が通話中などで着信できない場合、10秒ごとにリコールを再試行します。
リコールを開始してから1分経過しても着信できないときは、保留中の通話は切断されますのでご注意ください。

「電話設定」→「簡易サーバ(設定)」

(つづき)

■ パークプレフィクス

→ [特番設定]

弊社製VoIP機器に登録された子機(弊社製VoIP機器の[TEL]ポートに接続されたアナログ電話機、FOMA N900iL、VP-43、VP-501)で、パーク保留・応答するためのプレフィクス番号です。

設定できる範囲は、半角数字で7桁までです。

※VP-501だけ使用する場合でも必ず設定してください。

簡易中継サーバ設定					
簡易中継サーバ機能を使用		☐ しない ☒ する			
内線ドメイン		voip.virtual_server.co.jp			
デフォルト着信内線番号		2000			
転送切り戻り時間		20 秒			
パークリコール時間		180 秒			
多機能電話設定		設定ウィンドウを開く			
特番設定					
内線一斉発信番号		7777			
コールピックアップ(代理応答)		9999			
パークプレフィクス		パーク保留: 891		パーク応答: 892	
TELポート内線設定					
	内線番号	グループ番号	発信設定 (SIPサーバ)	発信設定 (Peer to Peer)	発信 (ISDN)
TEL1	2000		☐	☐	☐
TEL2	2001		☐	☐	☐

【アナログ電話機/FOMA N900iL/VP-43】

- ①転送元は、「パーク保留プレフィクス番号+パーク番号(1～6)」をダイヤルして受話器を置きます。
- ②転送先に保留しているパーク番号を直接伝えます。
- ③転送先は、「パーク応答プレフィクス番号+パーク番号(1～6)」をダイヤルして応答します。



アナログ電話機



FOMA N900iL



VP-43



VP-501

【VP-501】

ボタン1つで、左記のようにパーク保留・応答できます。

※[フレキシブルボタン設定]項目で、設定が必要です。

発信できない番号は

プレフィクス番号および「プレフィクス番号+(1～6)」の番号には発信できませんので、他の内線番号や特番と重複しないようにご注意ください。(例えば、891の場合、891、8911～8916に発信できません。)

1 内線設定について

3 多機能電話設定

弊社製VoIP機器に登録したすべてのVP-501で使用する共通設定です。

■設定画面を開く

[簡易中継サーバ設定]項目の<設定ウィンドウを開く>をクリックすると、下図のように別画面で表示します。

設定ボタンや各設定項目については、P11～P15をご覧ください。

簡易中継サーバ設定	
簡易中継サーバ機能を使用	☐ しない ☒ する
内線ドメイン	voip.virtual_server.co.jp
デフォルト着信内線番号	2000
転送切り戻り時間	20 秒
バックリコール時間	180 秒
多機能電話設定	設定ウィンドウを開く
特番設定	
内線 支店番号	5555

多機能電話設定

弊社指定多機能電話機に共通で使用する設定をします。
使用するために多機能電話機に保守サーバとTFTPサーバの設定をしてください。
電話帳にはVoIP電話帳の登録内容のうちヨミガナが設定してあるものが設定されます。

設定は子機起動時にダウンロードされます。

電話設定

ダイヤル待ち時間 秒

フレキシブルボタン設定

ボタン1	パーク	1
ボタン2	パーク	2
ボタン3	パーク	3
ボタン4	パーク	4
ボタン5	パーク	5
ボタン6	パーク	6

「パーク」指定時は1～6の番号を指定してください。
「ワンタッチ」指定時はVoIP電話帳の登録番号(1～200)を指定してください。

呼出音設定

呼出音

IP電話メディア設定

標準受信バッファサイズ	50 ms	5～150(5ms刻み)
最大受信バッファサイズ	100 ms	5～150(5ms刻み)
受話側ゲイン	-6 dB	-72～24(3dB刻み)
送話側ゲイン	-3 dB	-72～24(3dB刻み)
エコーキャンセラを使用	☐ しない ☒ する	
側音を使用	☐ しない ☒ する	
側音レベル	-21 dB	-36～18

(※上記の「多機能電話設定」画面は、出荷時の設定です)

「電話設定」→「簡易サーバ(設定)」→「簡易中継サーバ設定」→「多機能電話設定」

■ 設定ボタン

登録	取消	登録して子機再起動	設定は子機起動時にダウンロードされます。
----	----	-----------	----------------------

設定した内容を弊社製VoIP機器に保存したり、VP-501に弊社製VoIP機器側の設定をダウンロードするとき使用します。

〈登録〉

「多機能電話設定」画面で設定した内容を弊社製VoIP機器に保存します。

※変更内容は〈登録して子機再起動〉をクリックする、または電話機本体を再起動するまで、弊社製VoIP機器に登録したVP-501にダウンロードされません。

〈取消〉

「多機能電話設定」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

※〈登録〉や〈登録して子機再起動〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

〈登録して子機再起動〉

弊社製VoIP機器に登録したすべてのVP-501を再起動させて、「多機能電話設定」画面で設定した内容やVoIP電話帳など、共通で使用する設定を電話機本体にダウンロードします。

※通話などを切断して再起動を開始しますのでご注意ください。

更新できないときは

設定が更新できなかった場合、VP-501は、前回ダウンロードした設定をそのまま使用します。再起動させるときは、電話機本体の電源が入っていることをご確認ください。

■ ダイヤル待ち時間

→ [電話設定]

電話設定		
ダイヤル待ち時間	5 秒	1～60

VP-501のダイヤル操作を終了してから発信開始までの時間を設定します。

設定できる範囲は、「1～60(秒)」です。

(出荷時の設定：5)

※ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎて操作がないと発信を開始しますのでご注意ください。

1 内線設定について

3 多機能電話設定

■フレキシブルボタン機能の割り当て

下図のように、VP-501のフレキシブルボタンに機能を割り当てることができます。

※「未使用」を設定すると、そのボタンに機能を割り当てません。

フレキシブルボタン設定		
ボタン1	パーク	1
ボタン2	パーク	2
ボタン3	ワンタッチ	1
ボタン4	着信拒否	
ボタン5	マイク	
ボタン6	送話ミュート	

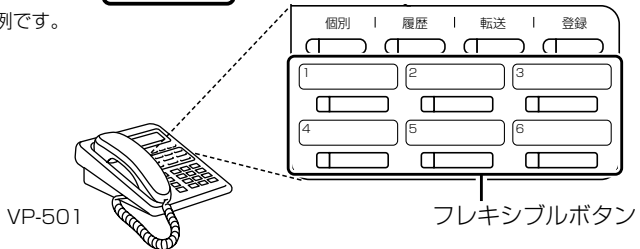
「パーク」、「ワンタッチ」を選択すると、右欄にテキストボックスを表示します

項目の右欄をクリックすると、選択項目を表示します。

「パーク」指定時は1～6の番号を指定して
「ワンタッチ」指定時はVoIP電話帳の登録

呼出音設定		
呼出音	未使用 パーク ワンタッチ 着信拒否 マイク 送話ミュート	

※上記の画面は、設定例です。



●パーク

通話をパーク保留して、どの内線電話からも応答できる機能です。

最大6件まで、パーク保留・応答として設定できます。

※他の内線電話(弊社製VoIP機器の[TEL]ポートに接続されたアナログ電話機、FOMA N900iL、VP-43)が、設定していないパーク番号(設定例：3～6)でパーク保留した場合は、VP-501からは、「パーク応答プレフィクス+パーク番号(1～6)」をダイヤルして応答できます。

●ワンタッチ★

よく利用するVoIP電話帳の内線番号や外線番号などを登録して、ワンタッチの操作で発信できる機能です。

弊社製VoIP機器のVoIP電話帳(※P16)に登録している番号(1～200)を右欄のテキストボックスに入力します。

※特番(コールピックアップなど)をあらかじめVoIP電話帳に登録しておくと、ワンタッチに設定できます。

「電話設定」→「簡易サーバ(設定)」→「簡易中継サーバ設定」→「多機能電話設定」

(つづき)

→ [フレキシブルボタン設定]

●着信拒否★

電話に応答できないときなど、あらかじめ着信を拒否する機能です。

ボタンを押すと、点灯して着信拒否機能が有効になります。

電話をかけてきた相手に話中音が流れて、通話を切断します。

※着信拒否機能が有効なとき、パーク保留・応答はできますが、他の内線電話からの転送はできません。

※着信を拒否したときの着信記録は、電話機本体の着信履歴には残りません。

※着信拒否機能を解除するときは、ボタンを押して消灯をご確認ください。

●マイク★

受話器を置いたまま、通話できるようにする機能です。

ボタンを押すと、点灯して電話機本体のマイク機能が有効になります。

スピーカボタンを押して発信や応答すると、ハンズフリーで通話できます。

※マイク機能を解除するときは、ボタンを押して消灯をご確認ください。

※マイク機能が無効なときは、スピーカボタンを押して発信や応答した場合、相手の音声だけがこちらに聞こえます。

●送話ミュート★

通話中に押すと、こちらの音声相手に聞こえなくなる機能です。

ボタンを押すと、点灯して送話ミュート機能が有効になります。

※送話ミュート機能が有効なとき、相手の音声だけがこちらに聞こえます。

※送話ミュート機能を解除するときは、ボタンを押して消灯をご確認ください。

★VP-501だけ対応できる機能です。

ボタンの機能について

弊社製VoIP機器側で設定したボタンの機能については、下記の設定例のようにメモを取るなどしてご使用ください。

【設定例】VP-501のフレキシブルボタン機能

1	パーク1	2	パーク2	3	ワンタッチ
4	着信拒否	5	マイク	6	送話ミュート

VP-501以外のパーク保留・応答番号

パーク1保留	8911	パーク1応答	8921
パーク2保留	8912	パーク2応答	8922

1 内線設定について

3 多機能電話設定

■ 呼出音

→ [呼出音設定]

呼出音設定

呼出音

呼出音1 ▼

VP-501に着信したときの着信音パターンを設定します。

(出荷時の設定：呼出音1)

着信音パターンは、「呼出音1～呼出音7」から選択できます。

※電話機本体の着信音量を消去しているときは、無効な機能です。

■ 音声設定

→ [IP電話メディア設定]

※音声に問題がないときは、出荷時の設定のままでご使用ください。

IP電話メディア設定

標準受信バッファサイズ	50	ms	5～150(5ms刻み)
最大受信バッファサイズ	100	ms	5～150(5ms刻み)
受話側ゲイン	-6	dB	-72～24(3dB刻み)
送話側ゲイン	-3	dB	-72～24(3dB刻み)
エコーキャンセラを使用	☐ しない	☒ する	
側音を使用	☐ しない	☒ する	
側音レベル	-21	dB	-36～18

標準受信バッファサイズ … 音声パケットの遅れ(遅延)を吸収するため、5ms刻みで標準値のバッファサイズを設定します。

(出荷時の設定：50)

設定できる範囲は、「5～150(ms)」です。

最大受信バッファサイズ … 音声パケットの遅れ(遅延)を吸収するため、5ms刻みで最大値のバッファサイズを設定します。

(出荷時の設定：100)

設定できる範囲は、「5～150(ms)」です。

受話側ゲイン …………… 受話音量を3dB刻みで調整します。

(出荷時の設定：-6)

設定できる範囲は、「-72～24(dB)」です。

「電話設定」→「簡易サーバ(設定)」→「簡易中継サーバ設定」→「多機能電話設定」

(つづき)

- 送話側ゲイン** 送話音量を3dB刻みで調整します。
(出荷時の設定：－3)
設定できる範囲は、「－72～24(dB)」です。
- エコーキャンセラを使用** ... エコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：する)
「する」に設定すると、通話するときにかかるエコー(反響)を低減します。
- 側音を使用** 側音機能を設定します。
(出荷時の設定：する)
「する」に設定すると、受話器から自分の音声が聞こえるようになります。
- 側音レベル** 側音機能を使用するときの音量を適度なレベルに調整します。
(出荷時の設定：－21)
設定できる範囲は、「－36～18(dB)」です。

1 内線設定について

「電話設定」→「簡易サーバ(設定)」→「VoIP電話帳」

4

共通電話帳

■ VoIP電話帳

→ [登録の追加]

弊社製VoIP機器に登録したVP-501では、弊社製VoIP機器の「VoIP電話帳」を共通電話帳として使用できます。(最大登録件数：200件)

※弊社製VoIP機器側の「VoIP電話帳」画面(☞下図)で[ヨミガナ](半角英数字、半角カナ)が登録されている電話番号だけを利用できます。

※[ヨミガナ]は半角31文字まで登録できますが、電話機本体では半角16文字までしか表示できません。

電話帳の保存と書き込み				
保存したファイルを書き込む	参照... 書き込み			
ファイルに保存する	CSV形式のファイルが書き込みできます。 ファイルを書き込むと、現在の設定は破棄されます。 ファイルに保存 voiptbl.csvで保存されます。			

登録の追加	
番号	1 追加
名前	阿部博史
ヨミガナ	アベロシ
電話番号	6000
SIP URI	sip:6000@voip.virtual_server.co.jp
E-Mailアドレス	voip
発信先の選択	VoIPのみ

電話機本体の画面に表示されます。

現在の登録						
	番号	名前	電話番号	SIP URI	発信先の選択	
編集	1	阿部博史	6000	sip:6000@voip.virtual_server.co.jp	VoIPのみ	削除
編集	2	安部広司	7000	sip:7000@voip.virtual_server.co.jp	VoIPのみ	削除
編集	3	伊藤一郎	2000	sip:2000@voip.virtual_server.co.jp	VoIPのみ	削除
編集	4	鈴木一郎	5000	sip:5000@voip.virtual_server.co.jp	VoIPのみ	削除
編集	5	鈴木太郎	4000	sip:4000@voip.virtual_server.co.jp	VoIPのみ	削除
編集	6	田中花子	3000	sip:3000@voip.virtual_server.co.jp	VoIPのみ	削除

よく利用する電話番号をワンタッチ
(☞P12)に登録するときの番号です。

登録について

上記(設定例)のように、「ヨミガナ」を50音順に登録することをおすすめします。50音順に登録しておくと、電話機本体の電話帳は、ダイヤルボタン(0~9)で50音または英数字を選択してから、<スピーカ音量(▼/▲)>を押すと、すぐに検索できます。

5

設定ダウンロード

■ 設定の更新

VP-501は、起動時に弊社製VoIP機器の設定をダウンロードできなかった場合、前回の設定をそのまま使用しますので、電話機本体を再起動(☞P11、☞P27)して設定を更新してください。

下記は、ダウンロードされる弊社製VoIP機器側の設定です。

「電話設定」メニュー	「簡易サーバ(設定)」画面	簡易中継サーバ設定	内線ドメイン
			多機能電話設定
		特番設定	パークプレフィクス
		子機内線設定	内線番号
			パスワード
	「VoIP詳細(設定)」画面	ToS設定	
	「VoIP電話帳」画面	現在の登録	
「ネットワーク設定」メニュー	「LAN側IP(設定)」画面	本体名称/IPアドレス設定	IPアドレス
「システム設定」メニュー	「時計(設定)」画面	自動時計設定	SNTPサーバ1 IPアドレス

■ 電話機本体の設定

本書の電話設定項目(☞2章)以外は、設定内容を変更しても、VP-501を再起動して弊社製VoIP機器から設定を自動更新されると、出荷時の状態に戻ることがあります。



この章では、

VP-501を内線電話機としてご利用いただくため、電話機本体の設定について説明しています。

Step1. 電話機の準備	20
■ 設定項目の確認	20
■ 電源を入れる	21
■ 操作するボタンと機能	21
Step2. 設定モード	22
■ 切り替えかた	22
Step3. 基本設定	22
1 IPアドレス	22
2 サブネットマスク	23
3 デフォルトゲートウェイ	23
4 電話番号(内線番号)	24
Step4. 保守設定	24
1 保守サーバ	24
2 TFTPサーバ	25
3 起動時データDL(設定の自動取得)	25
Step5. ネットワーク接続	26
Step6. 再起動/登録の確認	27

2 電話設定について

Step 1

電話機の準備

弊社製VoIP機器に登録するため、VP-501の準備をします。

■ 設定項目について

VP-501を弊社製VoIP機器に登録するため、次の項目を電話機本体の「設定モード」で設定します。

設定を完了してから電話機本体を再起動すると、弊社製VoIP機器から各種設定や電話帳などを自動的に更新します。

カレンダー表示

10月 1日 9:00 AM



VP-501



Step2 設定モード

キホン セットイ
カクチョウ セットイ
SIP セットイ
ホシュ セットイ
ツール

※設定モードで表示される
[拡張設定]や[SIP設定]
項目の設定は、必要あり
ません。

Step3 基本設定 (電話機本体について)

- ・ IPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ
- ・ 電話番号(内線番号)

Step4 保守設定 (弊社製VoIP機器について)

- ・ 保守サーバ (弊社製VoIP機器のIPアドレス)
- ・ TFTPサーバ (弊社製VoIP機器のIPアドレス)
- ・ 起動時データDL (設定ダウンロード)

Step6 ツール (設定の更新などについて)

- ・ 電話機リセット (電話機本体の再起動)

■ 電源を入れる

VP-501の電源を入れると、約1分後カレンダーを表示します。
はじめて設定する、または設定を初期化したときは、必ず「カレンダー表示」を確認後、一度電源を入れなおしてから設定をはじめてください。
※電源を入れなおして電話機本体を再起動しないと、VP-501はデフォルトゲートウェイを認識できません。
この場合、電話機本体を初期化(☎P30)してから設定しなおしてください。

リンクダウン表示 VP-501に固定IPアドレス(出荷時の設定：192.168.0.1)を設定してから、VP-501の[LAN]ポート(☎P26)にケーブルを接続してください。
ネットワークに接続すると、「リンクダウン」表示が消えます。

■ 操作するボタンと機能

設定モードでは、操作するボタンと機能は次のようになります。

ボタン機能

 受話音量 (決定)	 機 能 (消去/中止)
 着信音量 (戻る/取消)	フオン 記号  ~ ラ WXYZ  (数字入力)
▼スピーカ音量▲  (項目選択)	

2 電話設定について

Step 2

設定モード

画面を切り替えます

■切り替えかた

- ① カレンダー表示のとき、

   を押す

- エントリーコード入力画面が表示します。

エントリーコード* ニュリョク

- ②     を押す

- 入力した文字は、「* (アスタリスク)」で表示します。

エントリーコード* ニュリョク

- ③ 〈受話音量〉を押す

- 設定モード画面が表示されます。
- ※ 〈着信音量〉を押すと、カレンダー表示に戻ります。(※Step3につづく)

キホン セッテイ
カクチョウ セッテイ

設定モードから戻るには

次のどちらかの操作をすると、カレンダー表示に戻ります。

- 〈機能〉を押す
- 受話器を上げる

何も操作をしない状態が約1分間つづく、自動的にカレンダー表示に戻りますので、ご注意ください。

Step 3

基本設定

電話機ごとの設定です

1 IPアドレス

電話機に固定IPアドレスを設定します。
(出荷時の設定：192.168.0.1)

- ① [基本設定]を選択して、
〈受話音量〉を押す

キホン セッテイ
カクチョウ セッテイ

- ② [IPアドレス]を選択して、
〈受話音量〉を押す

IPアド* レス
サブ* ネットマスク

- ③ [DHCP使用しない]を選択して、
〈受話音量〉を押す

※「DHCP使用する」では、正常に動作できないことがありますのでご注意ください。

DHCP ショウシナイ
DHCP ショウスル

- ④ IPアドレスを入力して、〈受話音量〉を押す

- 「ビピッ」と音がして、手順③の画面に戻ります。
- ※登録には約1～3秒かかります。

IPアド* レス
192.168. 63. 50

(設定例：192.168.63.50)

- ⑤ 〈着信音量〉を押す

- 手順②の画面に戻ります。

(※Step3-2につづく)

2 サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。
(出荷時の設定：255.255.255.0)

- ① **[サブネットマスク]**を選択して、
〈受話音量〉を押す

IPアドレス
サブ ネットマスク

- ② サブネットマスクを入力して、
〈受話音量〉を押す
- 「ピピッ」と音がして、手順①の画面に戻ります。
- ※登録には約1～3秒かかります。
(☞Step3-3につづく)

サブ ネットマスク
255. 255. 255. 0

(設定例：255.255.255.0)

3 デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを設定します。
(出荷時の設定：0.0.0.0)

- ① **[デフォルトゲートウェイ]**を選択して、
〈受話音量〉を押す

サブ ネットマスク
デ フォルトゲ ートウェイ

- ② デフォルトゲートウェイを入力して、
〈受話音量〉を押す
- 「ピピッ」と音がして、手順①の画面に戻ります。
- ※登録には約1～3秒かかります。
(☞Step3-4につづく)

デ フォルトゲ ートウェイ
192. 168. 63. 1

(設定例：192.168.63.1)

2 電話設定について

Step 3

基本設定

(つづき)

4 電話番号(内線番号)

弊社製VoIP機器で設定した内線番号を設定します。

- ① **【電話番号】**を選択して、
〈受話音量〉を押す

DNS
デ ソバ ソコ

- ② 電話番号を入力して、

〈受話音量〉を押す

- 「ピピッ」と音がして、手順①の画面に戻ります。
- ※登録には約1～3秒かかります。

デ ソバ ソコ
5200

(設定例：5200)

- ③ **〈着信音量〉**を押す

- 設定モード画面が表示されます。

(※Step4につづく)

キホン セッテイ
カクチョウ セッテイ

Step 4

保守設定

弊社製VoIP機器(サーバ)を登録します

1 保守サーバ

弊社製VoIP機器に設定されたLAN側のIPアドレスを設定します。

(出荷時の設定：0.0.0.0)

- ① **【保守設定】**を選択して、
〈受話音量〉を押す

SIP セッテイ
ホシュ セッテイ

- ② **【保守サーバ】**を選択して、
〈受話音量〉を押す

デ ータDLサーバ センタク
ホシュ サーバ

- ③ **【保守サーバIPアドレス】**を選択
して、**〈受話音量〉**を押す

ホシュ サーバ IPアド レス
ホシュ サーバ ホ ート

- ④ IPアドレスを入力して、
〈受話音量〉を押す

- 「ピピッ」と音がして、手順③の画面に戻ります。
- ※登録には約1～3秒かかります。

ホシュ サーバ IPアド レス
192.168.63.14

(設定例：192.168.63.14)

- ⑤ **〈着信音量〉**を押す

- 手順②の画面に戻ります。

(※Step4-2につづく)

2 TFTPサーバ

弊社製VoIP機器に設定されたLAN側のIPアドレスを設定します。

(出荷時の設定：0.0.0.0)

- ① [TFTPサーバ]を選択して、
〈受話音量〉を押す

HTTP Pxサーバ
TFTPサーバ

- ② [TFTPサーバIPアドレス]を選択して、
〈受話音量〉を押す

TFTPサーバ IPアド レス
TFTPサーバ ドメインメ

- ③ IPアドレスを入力して、
〈受話音量〉を押す

- 「ビピッ」と音がして、手順②の画面に戻ります。
- ※登録には約1～3秒かかります。

TFTPサーバ IPアド レス
192.168.63.14

(設定例：192.168.63.14)

- ④ 〈着信音量〉を押す
- 手順①の画面に戻ります。
- (※Step4-3につづく)

3 起動時データDL(設定の自動取得)

起動したとき、弊社製VoIP機器の設定をダウンロードするようにします。

(出荷時の設定：ダウンロードしない)

- ① [起動時データDL]を選択して、
〈受話音量〉を押す

キト ウジ ファームアップ
キト ウジ データ DL

- ② [ダウンロードする]を選択して、
〈受話音量〉を押す

- 「ビピッ」と音がして、手順①の画面に戻ります。
- ※登録には約1～3秒かかります。

(※Step5につづく)

キト ウジ データ DL
:ダウンロード スル

Step 6

再起動/登録の確認

弊社製VoIP機器から設定を自動的に取得するため、電話機本体が再起動します。
また、設定モードからも電話機本体を再起動できます。

■ 登録の確認

- ① カレンダー表示に戻ったら、
〈登録〉の点灯を確認する

- 弊社製VoIP機器に登録され、内線電話として利用できます。

10月 1日 9:00 AM
5200

- ② 電源を入れなおす

- 再起動後、自動取得した時間を表示します。

12月25日 0:00 PM
5200

△注意

〈登録〉が点灯しないときは、設定内容などを確認してください。

■ 電話機リセット(電話機の再起動)

- ① カレンダー表示から**設定モード**
(P22)に切り替える

12月25日 0:00 PM
5200

キホン セッテイ
カクチョウ セッテイ

- ② [ツール]を選択して、
〈受話音量〉を押す

ホシュ セッテイ
ツール

- ③ [電話機リセット]を選択して、
〈受話音量〉を押す

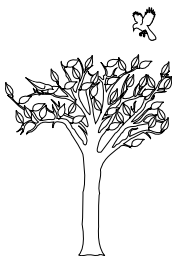
カニユウシャデータ ショキカ
デソウキ リセット

- ④ 〈受話音量〉を押す

- 電話機本体が再起動します。

デソウキ リセット
デソウキ リセット シマス

サイキド ウチュウ■



この章では、
VP-501の初期化、接続の確認などについて説明しています。

3-1. 設定を出荷時の状態に戻す	30
■ 初期化のしかた	30
3-2. 履歴を消去するには	31
■ 1件消去するとき	31
■ 全件消去するとき	31
3-3. PINGを送出して接続を確認する	32
■ 確認のしかた	32

3 保守について

3-1. 設定を出荷時の状態に戻す

ネットワーク構成を変更するときなど、VP-501の設定をはじめからやりなおしたり、既存の設定データをすべて※1消去したいなど、そのときの状況に応じて、次の手順で設定内容を出荷時の状態※2に戻す(初期化する)ことができます。

※1 履歴の消去(☞P31)は、「1件削除」または「全件削除」から選択できます。

※2 初期化すると、IPアドレスは「192.168.0.1」になります。

必要に応じてVP-501に接続するすべてのネットワーク機器をはずしてください。

■ 初期化のしかた

- ① カレンダー表示から**設定モード**(☞P22)に切り替える

12月25日 0:00 PM
5200

キホン セッテイ
カクチョウ セッテイ

- ② [ツール]を選択して、**〈受話音量〉**を押す

ホシュ セッテイ
ツール

- ③ [加入者データ初期化]を選択して、**〈受話音量〉**を押す

ファームアップ
カニユウシャデー タ ショキカ

- ④ **〈受話音量〉**を押す

- 初期化を開始します。

カニユウシャデー タ ショキカ
ショキカシマス

ショキカシマス
ショキカチュウ

- ⑤ 出荷時のカレンダー表示に戻ったことを確認します。

- 設定初期化が完了です。

10月 1日 9:00 AM

設定しなおすときは

初期化して設定するときは、必ずもう一度電源を入れなおして電話機本体を再起動してください。

3-2. 履歴を消去するには

発信着信履歴は、次の手順で消去できます。

■ 1件消去するとき

①〈履歴〉を押す

- 発信履歴(☎右図)を表示します。

ハッシン: 6/16:24
スズ キタロウ

②〈受話音量〉を押す

- 選択画面(☎右図)を表示します。

1ケン ショウキョ
ゼ ンケン ショウキョ

③ [1件消去]を選択して 〈受話音量〉を押す

- 手順①の履歴を消去します。

ショウキョ シマシタ

■ 全件消去するとき

①〈履歴〉を押す

- 発信履歴(☎右図)を表示します。

ハッシン: 6/16:24
スズ キタロウ

②〈受話音量〉を押す

- 選択画面(☎右図)を表示します。

1ケン ショウキョ
ゼ ンケン ショウキョ

③ [全件消去]を選択して 〈受話音量〉を押す

- 確認画面(☎右図)を表示します。

ゼ ンケン ショウキョシマスカ?

④〈受話音量〉を押す

- 手順①の発信履歴(または着信履歴)をすべて消去します。

ショウキョ シマシタ

ハッシン:
アリマセン

履歴を切り替えるには

〈履歴〉を押すごとに、「発信履歴」、「着信履歴」に切り替わります。
〈機能〉を押すと、カレンダー表示に戻ります。

チャクシン: 6/16:24
スズ キタロウ

3 保守について

3-3. PINGを送出して接続を確認する

ネットワークに接続されている任意の機器にPINGコマンドを送信し、応答を受信することで、接続を確認できます。

■ 確認のしかた

① カレンダー表示から**設定モード**(P22)に切り替える

12月25日 0:00 PM
5200

キホン セッテイ
カクチョウ セッテイ

② **[ツール]**を選択して、**〈受話音量〉**を押す

ホシュ セッテイ
ツール

③ **[PING送出]**を選択して、**〈受話音量〉**を押す

PING ソウシュツ
トウロク カイジ ヨ

④ IPアドレス(デフォルトゲートウェイなどの送信先)を入力して、**〈受話音量〉**を押す

- 1秒ごとにPINGを送出して、応答回数／送信回数および結果(OKまたはNG)を右図のように表示します。

※ **〈機能〉**を押すと、診断をやめます。
受話器をあげると、カレンダー表示に戻ります。

PING ソウシュツ
192.168. 63. 1

192.168. 63. 1
ソウシン 001/001 OK

192.168. 63. 1
100/100

接続が正常でないときは

デフォルトゲートウェイが認識できない、またはネットワークの接続が正常でないときは、右図のような結果を表示します。

192.168. 63. 1
ソウシン 000/007 NG

この章では、
おもなトラブルの対処方法、設置のしかたなどについて説明しています。

4-1. こんなときは	34
4-2. 設定モードの構成について	35
■ 設定項目と初期値一覧	35
■ 機能一覧	37
4-3. 取り付けかた	38
■ ラベルの取り付け	38
■ ケーブルの取り付け	38
4-4. VP-501の設置について	39
■ 設置場所について	39
■ PoE機能について	39
■ PoEによる電源供給について	40
■ PoE設置と接続のご注意	41
■ VP-501を壁(柱)に固定するとき	42

4 ご参考に

4-1. こんなときは

電話機の設定やケーブルの接続、または使用するネットワークの設定などによって、次のようになることがあります。

〈登録〉が点灯しないとき

画面表示	原因と対応
セッティエラー(404)	●電話番号の設定を間違えている 弊社製VoIP機器に登録された内線番号を確認して、「設定モード」で設定しなおす
電話番号の表示なし	●電話番号を設定していない 弊社製VoIP機器に登録された内線番号を確認して、「設定モード」で設定する
電話番号の表示あり	●弊社製VoIP機器に電源が入っていない 弊社製VoIP機器に電源を入れる ●弊社製VoIP機器から設定をダウンロードしていない VP-501の電源を入れなおして再起動する ●「設定モード」の[保守サーバ]項目で、[起動時データDL]が「ダウンロードしない」になっている 「ダウンロードする」に設定する ●「設定モード」の[保守サーバ]項目で、IPアドレスの設定を間違えている 弊社製VoIP機器に登録されたIPアドレスを確認して、「設定モード」で設定しなおす
Duplicate IP Adr	●既存のネットワーク上にVP-501と同じIPアドレスの端末がある VP-501とネットワークを切りはなして、固定IPアドレスを設定しなおしてください。
リンクダウン	●VP-501とネットワークが正しく接続されていない VP-501の[LAN]ポート、またはHUBなどに接続しているケーブルを確認する

その他

症状	原因と対応
着信時、着信音が鳴らない	●着信音を消去している 〈着信音量〉を押して、着信音の音量を調整する
他の電話機から着信できない	●着信拒否機能が有効になっている 弊社製VoIP機器で登録された〈着信拒否〉を押して、着信拒否機能を無効にする

4-2. 設定モードの構成について

■ 設定項目と初期値一覧

□：手動設定項目(必須) □：弊社製VoIP機器側の設定による項目 □：手動設定可能項目
 □：設定ダウンロード時に固定される設定項目

★はVP-501を内線電話として使用するために必要な設定項目 ※()内は出荷時の設定／設定ダウンロード時の設定

基本設定

IPアドレス★	DHCP使用しない	IPアドレス	(192.168.0.1)
	DHCP使用する	アドレス取得	
		DHCPオプション参照	IPアドレス
			サブネットマスク
			デフォルトゲートウェイ
			DNSサーバ
			TFTPサーバ
		DHCPオプション取得	TFTPサーバドメイン
サブネットマスク★			(255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ★			(0.0.0.0)
DNS	DNSサーバ1	DNSサーバ1 IPアドレス	(0.0.0.0)
		DNSサーバ1 ドメイン名	
	DNSサーバ2	DNSサーバ2 IPアドレス	(0.0.0.0)
		DNSサーバ2 ドメイン名	
電話番号★			
時刻設定			(レジスタサーバ同期／SNTPサーバ同期)
時間補正			(+09 : 00 日本)
リンクモード	LANポート		(オートネゴ)
	PCポート		(オートネゴ)

拡張設定

保留方式			(方式1／方式2)
DTMF	DTMF送出種別		(インバンド)
	ローカル鳴動		(鳴動しない)
発信優先Codec			(G711ulaw)
QoS	ToS(SIP)	Priority	(001)
		Type of Service	(0010)
	ToS(RTP)	Priority	(010)
		Type of Service	(1000)
電話番号表示			(パターン1)
電話番号通知			(通知する)
キータッチトーン			(あり)
ハウラ音			(あり)
発信キー選択			(#キー)
LCD調整			(1)
ハンドセット種別			(通常)
キーアピランス			(する)
通話開始タイミング			(方式1)
任意着信可否			(許可する)
長時間通話アラーム			(しない)

4 ご参考に

4-2. 設定画面の構成について

■ 設定項目と初期値一覧(つづき)

□ : 手動設定項目(必須) □ : 弊社製VoIP機器側の設定による項目 □ : 手動設定可能項目

□ : 設定ダウンロード時に固定される設定項目

★はVP-501を内線電話として使用するために必要な設定項目 ※()内は出荷時の設定／設定ダウンロード時の設定

SIP設定

プロキシサーバ1	プロキシサーバ1 IPアドレス	(0.0.0.0)
	プロキシサーバ1 ポート	(5060)
	プロキシサーバ1 ドメイン名	
プロキシサーバ2	プロキシサーバ2 IPアドレス	
	プロキシサーバ2 ポート	
	プロキシサーバ2 ドメイン名	
レジスタサーバ1	レジスタサーバ1 IPアドレス	(0.0.0.0)
	レジスタサーバ1 ポート	(5060)
	レジスタサーバ1 ドメイン名	
レジスタサーバ2	レジスタサーバ2 IPアドレス	
	レジスタサーバ2 ポート	
	レジスタサーバ2 ドメイン名	
プレゼンスサーバ1	プレゼンスサーバ1 IPアドレス	(0.0.0.0)
	プレゼンスサーバ1 ポート	(5060)
	プレゼンスサーバ1 ドメイン名	
プレゼンスサーバ2	プレゼンスサーバ2 IPアドレス	
	プレゼンスサーバ2 ポート	
	プレゼンスサーバ2 ドメイン名	
Outbound プロキシ	Outbound IPアドレス	(0.0.0.0)
	Outbound ポート	(5060)
	Outbound ドメイン名	
リクエスト受信ポート		(5060)
メッセージ送信ポート		(ランダム/5060)
レジスタ動作	登録有効時間	(60分/10分)
	リフレッシュ契機	(30分/5分)
	リフレッシュ失敗	(継続する)
	起動時自動登録	(方式2)
認証データ	認証アカウント	
	認証パスワード	(0000)
プレゼンス動作	プレゼンスDN番号	
	キーパターン	(1)
	発行契機	(REGISTER同期)
PAU表示		(未取得)
Session Timer	監視時間	(180秒)
	方式	(UPDATE)
	リフレッシャー指定	リクエスト (指定なし)
		レスポンス (uac/uas)

保守設定

データDLサーバ選択		(保守サーバ)
保守サーバ★	保守サーバ IPアドレス	(0.0.0.0)
	保守サーバ ポート	(50303)
	保守サーバ ドメイン名	
認証DLサーバ	認証DLサーバ IPアドレス	(0.0.0.0)
	認証DLサーバ ポート	(80)
	認証DLサーバ ドメイン名	
HTTP Pxサーバ	HTTP Pxサーバ IPアドレス	(0.0.0.0)
	HTTP Pxサーバ ポート	(80)
	HTTP Pxサーバ ドメイン名	
TFTPサーバ★	TFTPサーバ IPアドレス	(0.0.0.0)
	TFTPサーバ ドメイン名	
	セッション有効時間	(3分)
SNTPサーバ	SNTPサーバ IPアドレス	(0.0.0.0)
	SNTPサーバ ドメイン名	
	SNTP更新周期	(240分)
起動時ファームアップ		(ファームアップしない)
起動時データDL★		(ダウンロードしない)

※[起動時データDL]項目を「ダウンロードする」にしないと、弊社製VoIP機器から設定をダウンロードできません。

ツール

PING送出	(0.0.0.0)
登録解除	
ファームアップ★	
加入者データ初期化	
電話機リセット	

機能一覧

電話機単体機能

- 電話帳発信
- 発着信履歴発信(各10件)
- 着信拒否機能(ドントディスターブ)
- ハンズフリー通話機能
- スピーカーモニター機能
- 自己保留機能
- キータッチトーン機能
- ハウラ音送出機能
- ボリューム調整機能

SIPサーバ連携機能

- 個別転送機能
- パーク保留機能
- パーク応答機能
- SIPサーバレジスト機能

その他

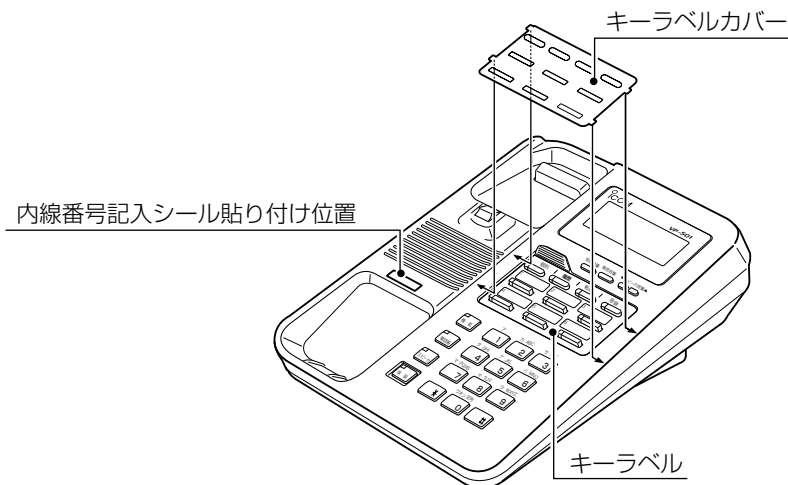
- PING送出機能
- データ初期化機能
- ファームウェア情報表示機能

4 ご参考に

4-3. 取り付けかた

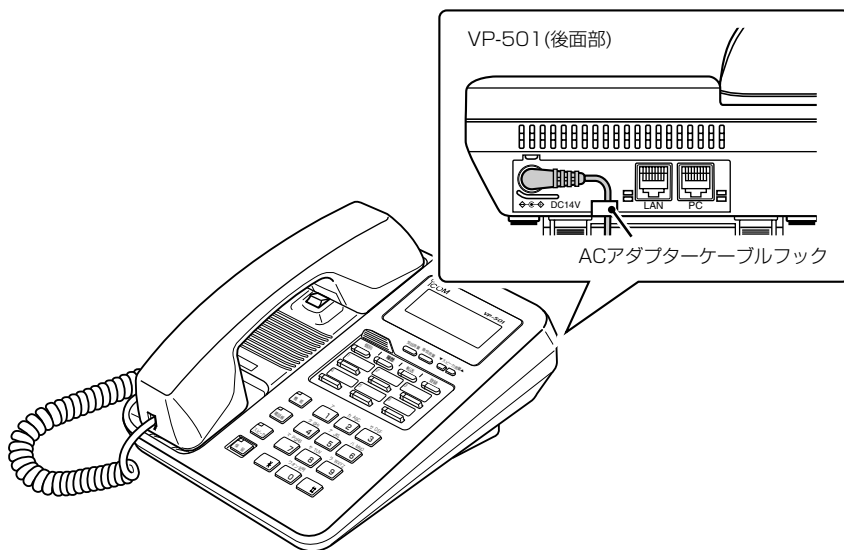
■ ラベルの取り付け

キーラベル、キーラベルカバーは、シートからはずして、下記のように取り付けます。



■ ケーブルを固定するときは

BC-170(別売品ACアダプター)をご使用になるときは、下記のようにすると、ケーブルを固定できます。



4-4. VP-501の設置について

VP-501の設置に関係する内容について説明します。

■設置場所について

設置場所によっては、通信状態や速度に影響する場合があります。

次のような場所に設置してください。

- ◎ 振動や傾きがなく、落下の危険がない安定した場所
- ◎ ほかの製品(TVアンテナ等)と近づきすぎない場所
- ◎ VP-501とLANケーブルの配線距離(総延長)がEthernet規格の最大長制限(100m)を超えないような場所
※ご使用のLANケーブルによっては、Ethernet規格の最大長制限より短くなる場合があります。
- ◎ その他、次のことを考慮して設置してください。
 - VP-501の上に物を置いたり、VP-501どうしやほかの製品と重ねて置いたりしないでください。

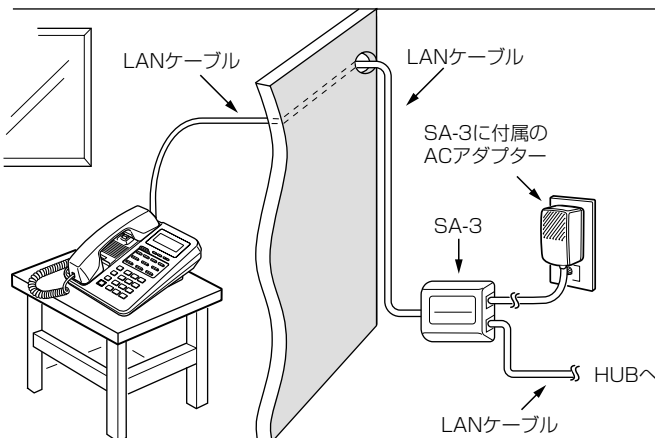
■PoE機能について

VP-501の設置場所から別売品のACアダプター(BC-170)が届く範囲内にコンセントがない場合、または[IEEE802.3af]規格対応のHUBがない場合に備えて、別売品のイーサネット電源供給ユニット(SA-3)をご用意しています。

SA-3をお使いいただくことで、VP-501の[LAN]ポートから電源供給できます。

接続について詳しくは、40～41ページをご覧ください。

※[IEEE802.3af]規格対応のHUBでご使用になる場合は、VP-501にACアダプターやSA-3を接続する必要はありません。



4 ご参考に

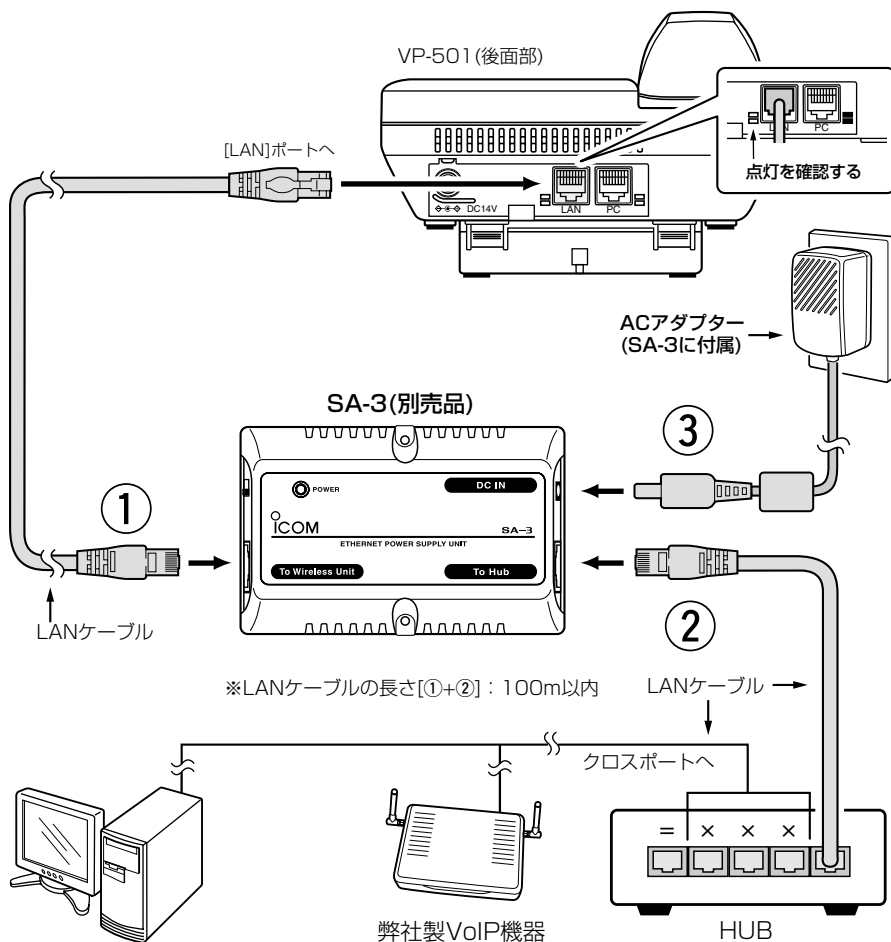
4-4. VP-501の設置について(つづき)

■PoEによる電源供給について

VP-501の[LAN]ポートに接続されたLANケーブルとSA-3(別売品)を接続して、VP-501に電源を供給する接続方法について説明します。

下記の図に示す番号の順に接続します。

※SA-3の[POWER]ランプが点滅から点灯状態に切り替わらないときは、手順①で接続したLANケーブルを確認してください。



■ PoE設置と接続のご注意

- ◎ 1台のSA-3で電源供給できるのは、VP-501 1台だけです。
- ◎ 別売品のACアダプター(BC-170)は必要ありません。
- ◎ SA-3には、電源が必要です。コンセントから近い場所に設置してください。
- ◎ SA-3は、HUBなどのネットワーク機器とは異なり、リピーター機能は搭載されていません。したがって、SA-3についてもLANケーブルの一部として、Ethernet規格の最大長制限(100m)に含まれますのでご注意ください。
 - ※ご使用のLANケーブルによっては、Ethernet規格の最大長制限より短くなることがあります。
- ◎ SA-3は、防水構造ではありませんので、雨水などでぬれやすい場所には設置できません。
- ◎ 接続に使用するLANケーブルは、すべてのピンが結線されたものをご使用ください。
- ◎ LANケーブルを接続後、SA-3のACアダプターを接続してから、SA-3の[POWER]ランプが点灯に切り替わる(起動する)まで、約10～15秒かかることがあります。

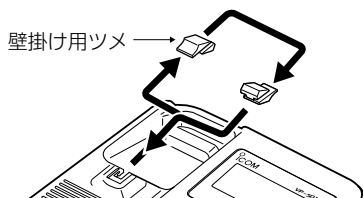
4 ご参考に

4-4. VP-501の設置について(つづき)

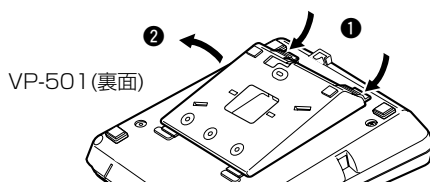
■ VP-501を壁(柱)に固定するとき

付属の壁掛け用ネジを使用して、VP-501を壁掛けできます。

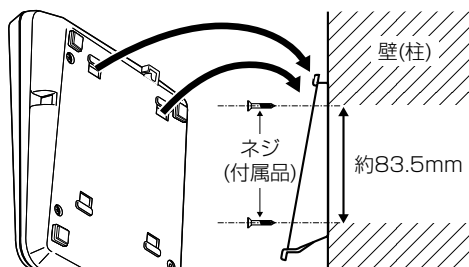
- ① 壁掛け用ツメをはずし、上下を逆にして差し込む



- ② VP-501の土台を取りはずす

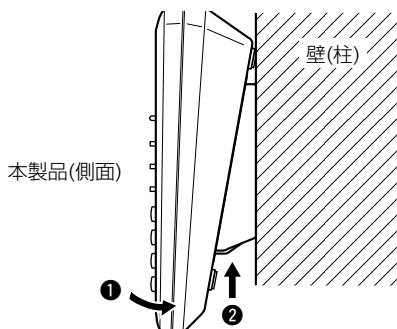


- ③ 付属のネジで、土台を壁(柱)に取り付け、VP-501を引っ掛ける



- ④ 土台のツメを押し上げて、VP-501を固定する

- 安全のため、しっかり固定されていることをご確認ください。



△注意

- ネジがしっかり固定できる壁(柱)に取り付けてください。
- 石膏ボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18mm以下のベニヤ板など強度の弱い壁には取り付けないでください。落下して、けがの原因になることがあります。

高品質がテーマです。